

2019年度の三重大学附属図書館研究開発室の事業報告

1. 附属図書館及び環境・情報科学館の学習支援環境の整備・支援

人的学習支援と、学習空間改善の二方向から、ラーニングコモンズにおける学習支援環境の拡充に向けアプローチすることを目指した。2019年度に MEIPL サポートデスクで対応した相談件数は ICT とラーニングの合計で 568 件であり、前年度比で 1.8 倍に増加した。附属図書館への「出張サポートデスク」の期間を昨年よりも大幅に強化（7/16～8/8、1/27-2/10）するとともに、「春の文献検索講習会」（6/26 午前・午後）やオープンキャンパス 3 日間におけるメイカースペース体験イベント等を実施した。また、2019 年 4 月にサポートデスクに新設した「メイカースペース」の活用件数は 152 件であった。加えて、正課授業との連携に積極的に取り組んだ。連携を行った授業は以下の通りである。（「情報科学基礎」（教育）、「三重の歴史と文化」（教養）、「三重の産業」（教養）、「上級総合日本語」（国際交流）、「専門 PBL セミナー」（人文・法経））また、活動の PR や先進事例の把握の目的で、対外発表等を計 6 件行った。大学 ICT 推進協議会 (AXIES) では、本事業で得た知見を基にして利用者サポートに関する新部会を立ち上げた。（和気・森本・加藤）

2. 学術情報リテラシー支援

大学教育における教員と図書館員の連携をテーマとして図書館情報学に関する研究論文のレビューを作成して国際学会に投稿した（採択済）。2020 年 9 月（コロナ禍により 2021 年 9 月への延期が決定）に口頭発表をする準備を進めている。また、図書館情報学関係の国際学会や国外のセミナーにおいて研究成果を口頭発表し、研究内容や方法を振り返るとともに、今後の方向性を得た。国内の招待講演では、情報リテラシー教育のための教員と図書館員の連携に関する研究成果を大学図書館員や高校の教員と広く共有するとともに、大学間連携や高大連携についての知見を得ることができた。三重大学が企画する高大連携サマーセミナーでは、附属図書館の関係者による協力を得ながら「課題探究や問題解決のための図書館の効果的な利用法」を三重県内の高校生 8 名に提供した（7 月 25 日、8 月 1 日）。2019 年度中には山口大学のデータ分析へのエフォートを十分に確保することはできなかったが、上記の文献レビューや研究発表によりその基盤を得ることができた。（長澤）

3. 附属図書館所蔵資料に関する調査研究

三重大学附属図書館所蔵の和古書の調査と整理を行った。未整理和古書の OPAC への登録のため、和古書の実物をみてデータベースの作成を実施した。学術アドバイザーの中京大学中川豊准教授とともに 2019 年 8 月 19 日 20 日、2019 年 11 月 29 日 30 日、2020 年 3 月 18 日 19 日に調査を行った。90 点ほどのカードデータを作成した。資料調査の成果として所蔵資料展示「伊賀と忍者」展を 2019 年 6 月 20 日から 8 月 22 日まで開催した。また、2019 年 11 月 21 日 22 日の全国図書館大会（於三重県文化会館）で行われた「史料にみる忍者の諸

相」展に協力した。(吉丸)

4. 附属図書館の職員のためのスタッフ・ディベロップメント

前年度と同様に、附属図書館の職員（時間外アルバイトの学生を含む）を対象として3回のSDを実施した。第1回は新任職員を対象とする「大学図書館が提供する学習支援サービス：大学教育改革と大学図書館の機能の強化」（6月5日及び6日）である。第2回以降は、現場の課題をテーマとして全職員を対象とするもので、第2回「図書館の利用者による問題行動：三重大学附属図書館における現状と対策」（9月13日）、第3回「知的創造型学習環境としての附属図書館のポテンシャルを高める」（2月12日）を実施した。いずれのSDでも改善案を作成し、現場の担当者と共有している。

図書館サービスWGについては、13名の教職員（時間外アルバイトの学生を含む）が、月例の打ち合わせで検討を重ねながら、ポスター、利用案内、地域資料、電子ブックの事業に取り組んだ。成果の例として、著作権に関するポスターの作成や三重県郷土誌の電子化がある。これに加えて、打ち合わせにおける話し合いをもとに、附属図書館の1階の壁面を用いて学内の学習・研究成果を発信する学内の他部局との連携プログラムを企画し、図書館運営委員会で提案をした（3月）。（長澤）

室員の活動

【地域貢献】

- ・吉丸雄哉 第105回全国図書館大会三重大会展示会「史料からみる忍者の諸相」展示協力、解題作成
- ・長澤多代「課題探究や問題解決のための図書館の効果的な利用法」三重大学・高大連携サマーセミナー、2019.7.25/8.1.
- ・長澤多代 桑名市教育委員会 桑名市立図書館 図書等選定審査委員（副委員長）
- ・長澤多代 伊勢市学校図書館活性化支援事業業務受託者選定委員、伊勢市教育委員会（委員長（後任））

【図書・報告等】

- ・吉丸雄哉 講演録「忍者研究の最前線から地域と図書館を考える」『全国図書館大会三重大会記録』第105回全国図書館大会三重大会実行委員会、2020.3.
- ・吉丸雄哉 「図書館と忍者の密なる関係」朝日新聞全国版インタビュー広告、2019年10月26日付。

【論文・報告等】

- ・森本尚之、和気尚美「三重大学におけるノートパソコン必携制度（BYOD）導入の報告と分析」情報処理学会論文誌 教育とコンピュータ 6(1), 16-27, 2020年2月 査読有

- ・森本尚之, 和気尚美, 佐藤明知, 伊坂脩, 中村日海里, 石田修二「三重大学におけるクラウドサービスを基盤とした ICT・学習サポートデスクの活動とその発展」学術情報処理研究 23(1), 67-75, 2019年9月 査読有
- ・藤田祥行, 加藤彰一. ラーニングコモンズにおける学生の利用行動, 分散したラーニングコモンズにおける各所の比較に関する研究その1, 日本建築学会東海支部研究報告集, 第58号, 432, 2020.02, pp.373-376.
- ・藤田祥行, 加藤彰一. ラーニングコモンズに対する学生と職員の認識 分散したラーニングコモンズにおける各所の比較に関する研究その2, 日本建築学会東海支部研究報告集, 第58号, 433, 2020.02, pp.377-380.
- ・藤田祥行, アクティブラーニングによる BIM 教育とそれを支援する学生主体の学修空間に関する研究, 三重大学大学院工学研究科建築学専攻修士論文(指導教員:加藤彰一), 2019年度.
- ・桑原映美, 大学生の課外学修における空間選択とその誘因に関する研究, 三重大学生に対するインタビューから, 三重大学工学部建築学科卒業論文(指導教員:加藤彰一), 2019年度.
- ・西梨々子, PBL 授業における活動の実態に関する研究, 三重大学における2つの授業を対象として, 三重大学工学部建築学科卒業論文(指導教員:加藤彰一), 2019年度.

【外部資金による研究】

- ・長澤多代「大学教育における教員と図書館員の連携:アアルト大学のケース・スタディをもとに」科学研究費補助金・基盤研究C, 2019年度~2021年度.

【研究発表(口頭発表)】

- ・森本尚之, 和気尚美, 佐藤明知, 伊坂脩, 中村日海里, 石田修二「三重大学におけるクラウドサービスを基盤とした ICT・学習サポートデスクの活動とその発展」第23回学術情報処理研究集会 2019年9月26日
- ・森本尚之「情報活用能力の向上のための学生への人的支援のありかた~学生 ICT ヘルプデスクの活動を通して~(イブニングセッション共催者・講演者)」PCカンファレンス 2019 2019年8月6日
- ・森本尚之「三重大学におけるデータサイエンス教育」三重大学 第18回三重大学産学官連携セミナーin伊賀 2020年2月12日 - 2020年2月12日
- ・MEIPL メイカースペースの紹介と VR・ドローン体験 三重大学 東紀州サテライトフォーラム「東紀州におけるデータサイエンス」 2019年10月28日
- ・NAGASAWA Tayo. "Information Sharing between Teaching Faculty and Librarians in Integrating Information Literacy Instruction into Higher Education". Research Seminar, Research Seminar, Information Studies, Faculty of Social sciences, Business and Economics, Åbo Akademi University, Turku, Finland, 2020.2.24.

・ NAGASAWA Tayo. "Teaching Faculty-Librarian Collaboration in Integrating Information Literacy Instruction into Higher Education: Case Studies of Earlham College, University of Tampere and Aalto University". Doctoral Forum, 10th International Conference in the Conceptions of Library and Information Science (CoLIS 10), University of Ljubljana, Ljubljana, Slovenia, 2019.6.16.

・ NAGASAWA Tayo. "Teaching Faculty-Librarian Collaboration in Integrating Information Literacy Instruction into Higher Education: Case Studies of Good Practices for Building Collaborations". Research Seminar, Research Seminar, Information Studies, Faculty of Social sciences, Business and Economics, Åbo Akademi University, Turku, Finland, 2019.6.10.

【招待講演】

・ 吉丸雄哉「忍者研究の最前線から地域と図書館を考える」〔記念講演〕第105回全国図書館大会・三重大会，三重県総合文化センター，2019.11.21.

・ 長澤多代「学生の主体的な学びを促すための大学図書館の戦法と術策」〔基調報告〕／萩誠一，長澤多代，森岡美知子，井上真美，中村光浩〔パネルディスカッション〕第2分科会 大学・短大・高専図書館(2)「大学図書館における利用促進」，日本図書館協会，第105回 全国図書館大会・三重大会，三重県総合文化センター，2019.11.22.

・ 長澤多代「アクティブラーニング型授業のための大学図書館の役割」(株)学研アソシエ，学研・高大教育フォーラム2019，学研本社／スタンダード会議室，2019.8.3-4.

・ 長澤多代「大学図書館の学習支援」〔研修(講師)〕筑波大学附属図書館，平成30年度大学図書館職員長期研修，筑波大学春日キャンパス，2019.7.10.

【その他】

・ 長澤多代 国立国会図書館『カレントアウェアネス』編集企画員

・ 長澤多代 一般社団法人大学教育学会 情報システム管理運営委員会委員